



# マルハニチロ株式会社

---

2017年3月期連結決算  
2018年3月期計画

代表取締役社長 伊藤 滋

2017年5月22日

# 1. 事業環境

## 日本経済

- 緩やかな回復基調で推移も、
  - 海外経済の不確実性
  - 金融資本市場の変動の影響が国内経済を下振れさせるリスクとなる状況
- 個人消費は生活防衛意識が強く、引き続き厳しい環境

## マルハニチログループ

- 中期4ヵ年経営計画「Challenge toward 2017」の3年目
- テーマは「成長への挑戦」

「持続的な成長の実現」と「中長期の企業価値向上」に向けて、

- 「完全養殖マグロ事業の拡大」
- 「グローバル領域における収益拡大」
- 「新たな価値を提供する新商品の発売」

成長路線の遂行

## 2. 2017年3月期 連結業績サマリー



◆ 売上高は円高による海外売上高の減などにより減収も、「営業利益」、「経常利益」、「当期純利益(親会社帰属)」は**経営統合後の最高益**

(億円)	2017年 3月期実績	2016年 3月期実績	増減	前年比
売上高	8,733	8,848	▲115	▲1.3%
営業利益	263	170	93	55.0%
経常利益	279	171	108	62.8%
税金等調整前 当期純利益	246	124	122	98.1%
当期純利益 (親会社帰属)	154	41	113	277.0%
1株当たり当期純利益	293.44	77.83	-	-

### 3. セグメント別 売上高／営業利益



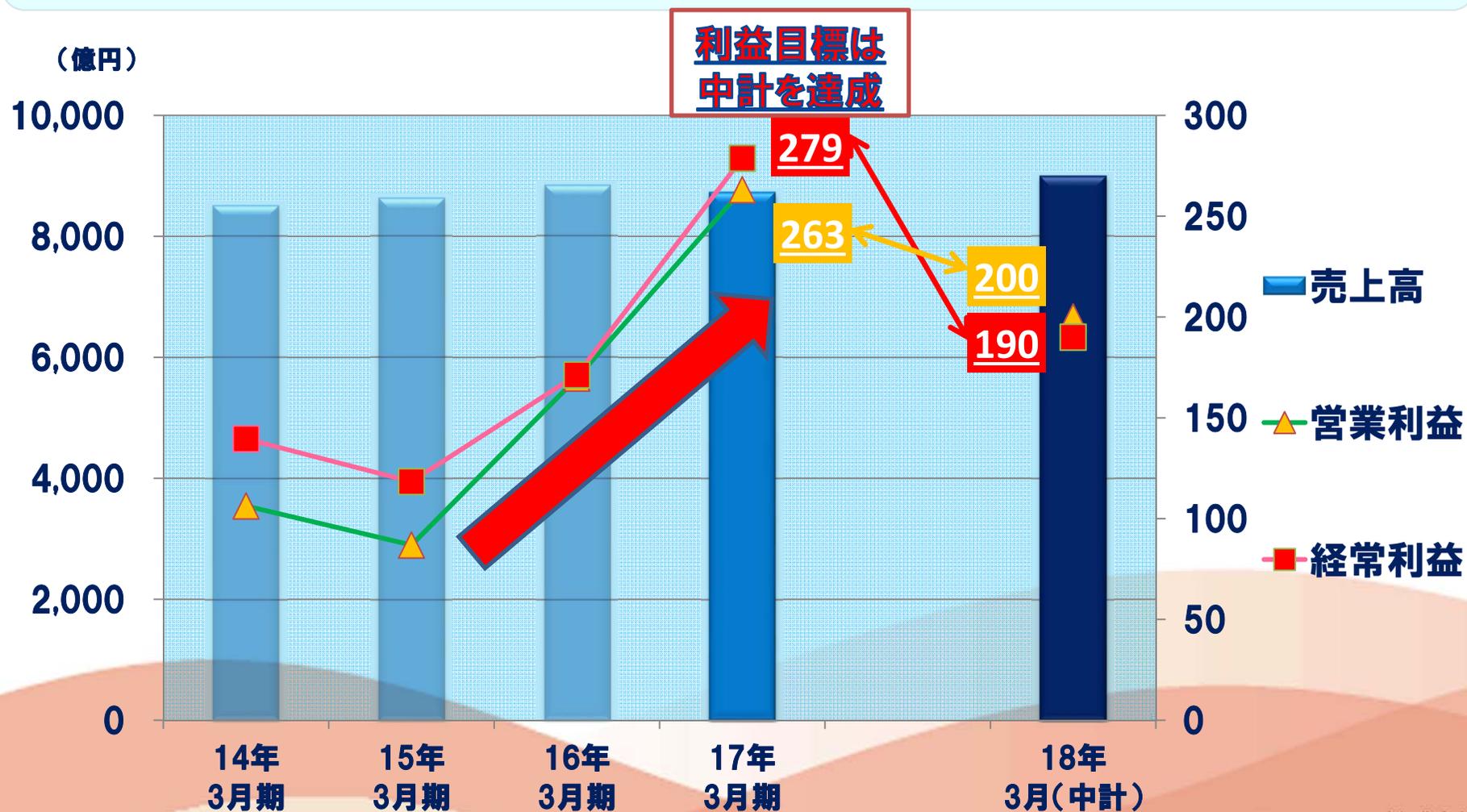
- ◆ 営業利益は、商事、加工セグメントが大きく伸長し、中計目標を達成
- ◆ 加工セグメントの大幅な収益回復で、安定収益構造の基盤が構築される

(単位:億円)

セグメント	売上高					営業利益				
	17年 3月期 A	16年 3月期 B	増減 A-B	15年 3月期 C	増減 A-C	17年 3月期 D	16年 3月期 E	増減 D-E	15年 3月期 F	増減 D-F
漁業・養殖	362	377	△ 15	351	11	21	16	4	10	11
商事	4,522	4,534	△ 13	4,521	0	76	43	33	38	38
海外	1,462	1,576	△ 114	1,465	△ 3	80	77	3	35	45
加工	2,107	2,073	34	2,023	84	52	4	47	△ 22	73
物流	155	156	△ 1	152	3	18	18	1	12	7
その他	126	131	△ 6	126	△ 0	12	5	7	9	3
全社	-	-	-	-	-	5	7	△ 2	5	△ 0
合計	8,733	8,848	△ 115	8,638	95	263	170	93	87	176

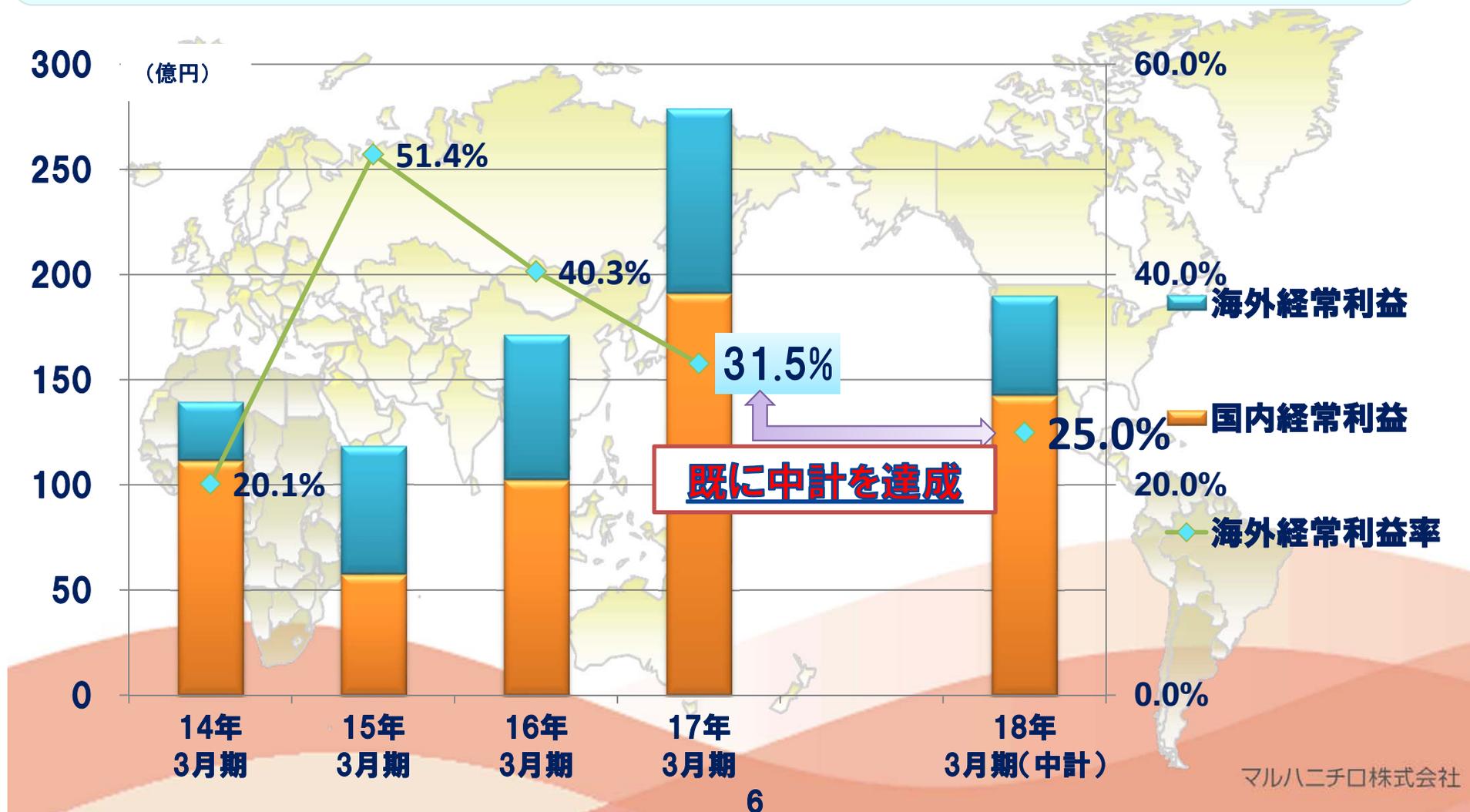
## 4. 中期経営計画の進捗状況①

◆ 中期4カ年経営計画「Challenge toward 2017」の3年目は営業利益、  
経常利益ともに前期に引き続き大きく伸長、**中計目標値を達成**



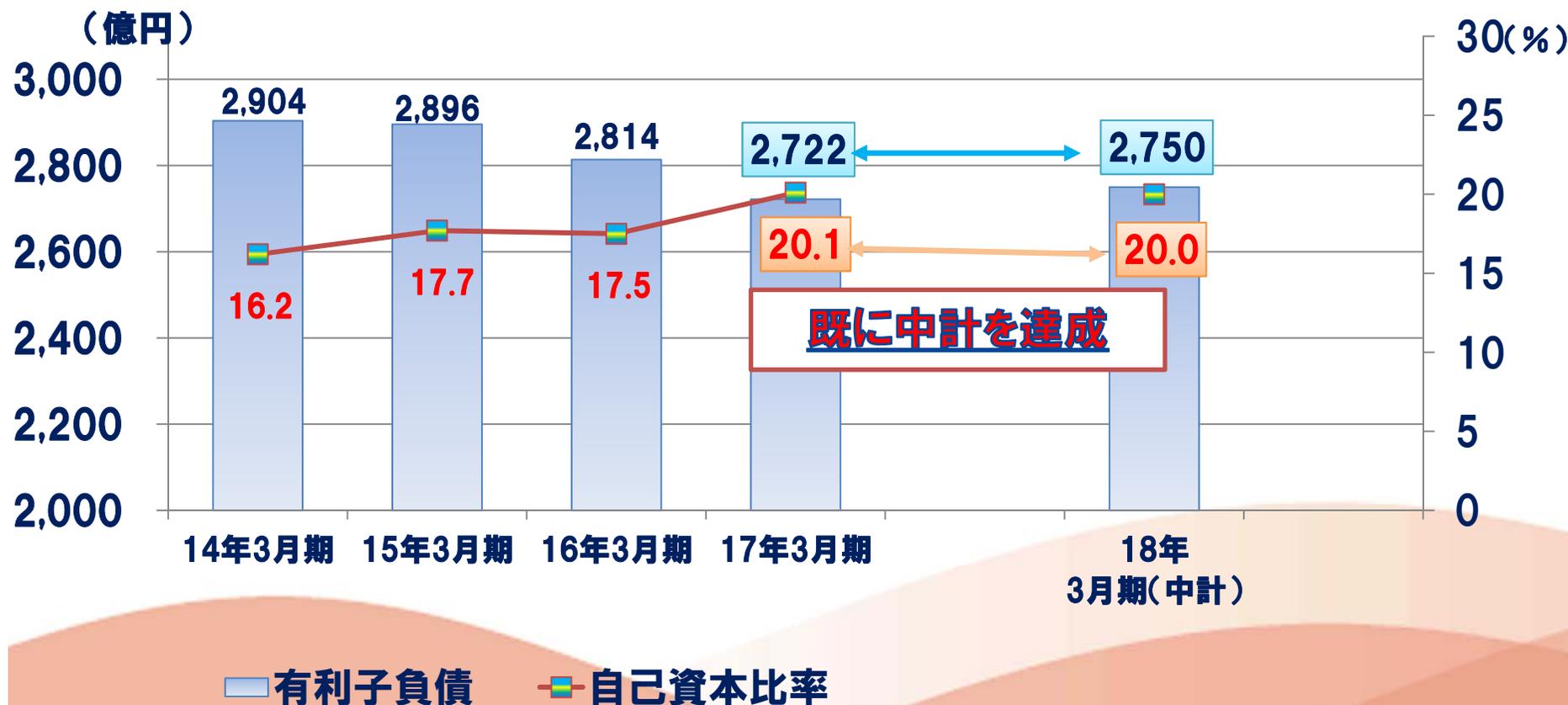
## 4. 中期経営計画の進捗状況②

- ◆ 海外法人の経常利益の状況は2017年3月期は31.5%
- ◆ 2016年3月期同様に**中計目標を大幅に上回り達成**



## 4. 中期経営計画の進捗状況③

- ◆ 2017年3月期の有利子負債は2,722億円(前期比▲92億円)
- ◆ 自己資本比率は20.1%
- 財務体質の改善についても**中計を1年前倒しで達成**



## 5. 経営課題への取組み状況【課題事業改善】



- ◆ 課題事業全てにおいて前年よりも改善（前期比30億円の改善）
- ◆ マイナス事業は引続き改善し、各事業黒字化を目指す

課題事業		2016年3月期 営業利益	2017年3月期 営業利益	改善額
①	マレーシアえび養殖	▲8億円	0億円	8億円
②	北米鮭鱒事業	▲10億円	▲7億円	3億円
③	アクリ冷凍食品事業	▲15億円	▲5億円	10億円
④	魚肉ソーセージ事業	▲7億円	▲3億円	4億円
⑤	デザート事業	▲6億円	▲2億円	4億円
⑥	ロングライフチルド食品事業	▲8億円	▲7億円	1億円
合計		▲54億円	▲24億円	30億円

**トータルで30億円の営業利益改善**

## 6. 2018年3月期通期計画

- ◆ 売上高は中計最終年の計画値をめざす
- ◆ 利益目標は、中計数値を大きく上回る計画で

【ご参考】

(億円)	18年3月期 計画 A	17年3月期 実績 B	増減 A-B	中期計画 C	増減 A-C
売上高	9,000	8,733	267	9,000	0
営業利益	240	263	▲23	200	40
経常利益	250	279	▲29	190	60
当期純利益 (親会社帰属)	135	154	▲19	-	-
1株当たり 当期純利益	256.49円	293.44円	-	-	-

為替レート 米ドル／円	18年3月期 計画レート	17年3月期 決算レート
	116.49	110.30

## 7. セグメント別通期計画

(単位:億円)

セグメント	売上高			営業利益		
	18年 3月期計画	17年 3月期	増減	18年 3月期計画	17年 3月期	増減
漁業・養殖	365	362	3	19	21	△ 2
商事	4,634	4,522	112	54	76	△ 22
海外	1,524	1,462	62	89	80	9
加工	2,183	2,107	76	49	52	△ 3
物流	159	155	4	19	18	1
その他	135	126	9	10	12	△ 2
全社	-	-	-	△ 0	5	△ 5
合計	9,000	8,733	267	240	263	△ 23

# 8-①. 事業見通し<商事セグメント>

【億円】	売上高			営業利益		
	18年3月期 計画	17年3月期	増減	18年3月期 計画	17年3月期	増減
水産商事	774	753	21	30	49	▲19
荷受	2,523	2,462	61	10	8	2
畜産商事	514	475	39	8	10	▲2
業務用食品(商事)	823	832	▲9	6	8	▲2
商事セグメント計	4,634	4,522	112	54	76	▲22

## 水産商事ユニットの今期見通し及び施策

### 見通し

- ・ 主要魚価は引続き高値圏
- ・ 為替の影響等によるコストアップ要因

### 施策

- ・ さらなる資源アクセス強化
- ・ 加工品の拡大
- ・ 国内外の販売ネットワークとの協働を通じた販売力強化



## 8-②. 事業見通し<海外セグメント>

【億円】	売上高			営業利益		
	18年3月期 計画	17年3月期	増減	18年3月期 計画	17年3月期	増減
海外	543	480	63	66	57	9
北米	981	982	▲1	23	23	▲0
海外セグメント計	1,524	1,462	62	89	80	9

### 海外ユニットの今期見通し及び施策

#### 見通し

- ・タイ…EU向けペットフード堅調に推移
- ・豪州…メロ、エビ漁獲・価格とも堅調
- ・NZ…安定した漁業環境が継続

#### 施策

- ・タイ、豪州、ニュージーランド各事業拠点における収益基盤及び資源アクセスの強化



# 8-③. 事業見通し<加工セグメント>



【億円】	売上高			営業利益		
	18年3月期 計画	17年3月期	増減	18年3月期 計画	17年3月期	増減
家庭用冷凍食品	602	590	12	10	15	▲5
家庭用加工食品	510	475	35	11	3	8
業務用食品(加工)	1,012	986	26	20	23	▲3
化成	59	55	4	8	10	▲2
加工セグメント計	2,183	2,107	76	49	52	▲3

## 家庭用冷凍食品ユニットの今期見通し及び施策

見通し

- ・市場は米飯や麺類等の主食品が牽引し、引き続き堅調との予想  
→当社も好調な米飯・麺類で伸長
- ・新規設備投資の償却増による影響

施策

- ・商品開発力の強化
- ・生産体制強化  
→2017年4月新石巻工場生産開始  
(生産性は旧工場の1.5倍)



## 8-④. 事業見通し<課題事業への取組み>

◆ 中計最終年、課題事業全体で**24億円**を改善しトータルで**マイナス**を解消

課題事業	2017年3月期 営業利益	改善内容	2018年3月期 営業利益
① 北米鮭鱒事業	▲7億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産効率改善</li> <li>・鱒の回復</li> </ul>	5億円
② アクリ冷凍食品事業	▲5億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点品への販売集中</li> <li>・営業体制等の見直し</li> </ul>	▲4億円
③ 魚肉ソーセージ事業	▲3億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点顧客への販売拡大</li> <li>・生産効率改善</li> </ul>	±0億円
④ デザート事業	▲2億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CVS、量販店の販売強化</li> <li>・閑散期向け商品開発</li> </ul>	±0億円
⑤ ロングライフチルド食品事業	▲7億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日配、CVS、デリカ惣菜ルートでの販売拡大</li> </ul>	▲1億円
合計	▲24億円		±0億円

# 9. 成長戦略に向けた投資



◆ 中計過去3年間での設備投資額は615億円  
 ◆ 2018年3月期は250億円を計画

設備投資額					※出資を含む
2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期 計画	中計4年間 トータル	参考 中計(計画値)
166億円	234億円	216億円	250億円	<b>865億円</b>	750億円

## 中計過去3か年の主要設備投資案件 ( )はセグメント

2015年 3月期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豪州トロール延縄船購入(海外)</li> <li>・ ロングライフチルドライン新設(加工)</li> </ul>
2016年 3月期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豪州トロール延縄船購入(海外)</li> <li>・ タイペットフード工場新設及び増設(海外)</li> <li>・ NZ Sanford社へ出資</li> </ul>
2017年 3月期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新石巻工場新設(加工)</li> <li>・ 大江工場炒め装置(加工)</li> <li>・ 出水物流センター新設(物流)</li> </ul>

## 2018年3月期の設備投資計画

- ・ 新規孵化場の建設(漁業・養殖)  
 → 主要魚種の人工種苗生産による事業の安定化をはかる
- ・ シェア拡大が見込まれるラインの増強(加工)
- ・ NZで新船購入(海外)
- ・ NZ漁業会社への資本参加(海外)  
 → さらなる資源アクセスの強化

**次期中計に向けて新たな成長の芽**

<参考資料>

# ユニット別売上高・営業利益 計画



(単位: 億円)

セグメント	ユニット	売上高			営業利益		
		18年 3月期計画	17年 3月期	増減	18年 3月期計画	17年 3月期	増減
漁業・養殖	漁業・養殖	365	362	3	19	21	△ 2
商事	水産商事	774	753	21	30	49	△ 19
	荷受	2,523	2,462	61	10	8	2
	畜産商事	514	475	39	8	10	△ 2
	業務用食品(商事)	823	832	△ 9	6	8	△ 2
商事セグメント小計		4,634	4,522	112	54	76	△ 22
海外	海外	543	480	63	66	57	9
	北米	981	982	△ 1	23	23	△ 0
海外セグメント小計		1,524	1,462	62	89	80	9
加工	家庭用冷凍食品	602	590	12	10	15	△ 5
	家庭用加工食品	510	475	35	11	3	8
	業務用食品(加工)	1,012	986	26	20	23	△ 3
	化成	59	55	4	8	10	△ 2
加工セグメント小計		2,183	2,107	76	49	52	△ 3
物流	物流	159	155	4	19	18	1
その他		135	126	9	10	12	△ 2
全社		-	-	-	△ 0	5	△ 5
合計		9,000	8,733	267	240	263	△ 23
業務用食品ユニット計		1,835	1,817	18	25	32	△ 7

当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。また、本資料の著作権やその他本書類にかかる一切の権利はマルハニチロ株式会社に属します